



2024年8月13日

各位

会社名 HPCシステムズ株式会社
代表者名 代表取締役 小野 鉄平
(コード番号：6597 東証グロース)
問合せ先 取締役管理部長 下川 健司
(電話番号：03-5446-5530)

「中期経営計画 Vision2027」の策定に関するお知らせ

当社は、このたび、「中期経営計画 Vision2027」を策定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。
なお、詳細につきましては、当社ホームページの IR サイト (<https://ir.hpc.co.jp/>) にてご確認ください
ますようお願い申し上げます。

記

1. 対象期間

2025年6月期から2027年6月期までの3年間

2. 策定の背景

当社は、Beyond2030に時代を超えて生き続ける「コンピュータサイエンスを基軸とした世界を代表する21世紀のビジョナリーカンパニー」を目指します。そこからバックキャストして、2025年6月期から2027年6月期までの3年間に係る「中期経営計画 Vision2027」を策定いたしました。

3. 基本方針

■ 事業基盤の進化で収益力の強化を図り、新たな収益構造へと変革する

事業戦略

- HPC事業とCTO事業の事業基盤の進化と成長戦略分野の深耕で収益力を強化

事業シナジー戦略

- HPC事業とCTO事業の柔軟な人材活用で事業連携を最大化し、競争優位性を向上

グローバル戦略

- ソフトウェアライセンスビジネスによる展開
- パートナーシップと産学のネットワーク
- ベトナム子会社INT2社のソフトウェア強化
- 顧客製品への海外対応モデルの拡充

テクノロジー戦略

- シミュレーション技術とAI技術の融合技術
- 世界スタンダードのコンピューティング技術
- 先端冷却技術、省エネ技術
- 量子コンピュータを用いた量子化学計算の研究



4. 概要

「事業基盤の進化で収益力の改善を図り、新たな収益構造へと変革する」を基本方針とし、「人財グランドデザイン」を中核に据え①事業戦略、②事業シナジー戦略、③テクノロジー戦略、④グローバル戦略を実行します。これら4つの戦略により、**2027年6月期の売上高86億円、営業利益9億円、営業利益率10%以上、自己資本利益率（ROE）2桁維持、株主資本配当率（DOE）4%目安**という数値目標を達成します。

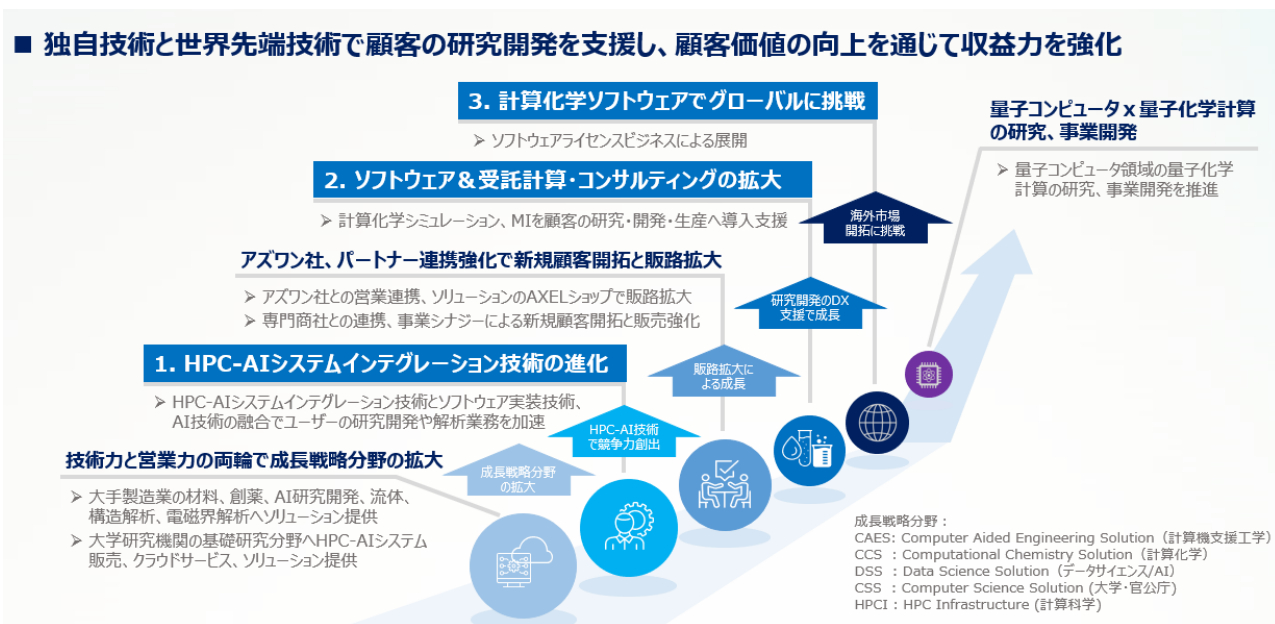
※人財グランドデザイン

HPCシステムズの人材価値を最大限に引き出すための人的資本に関する基本的な考え方。『学ぶ環境づくり』『働き方の自由度づくり』『人間関係・後継者づくり』『心身の健康づくり』『有形資産づくり』を5つの柱とし、それらを『均等な機会』という土台の上に打ち建て、従業員の Well-being を支えるという画を描き、一人一人の能動的な Well-being の追求を支援する。

5. 4つの戦略

①事業戦略

◆HPC 事業成長戦略



【HPC 事業 成長戦略 1】HPC-AI システムインテグレーションの進化

- 独自技術と世界先端技術で顧客の研究開発を支援し、顧客価値の向上を通じて収益力を強化

【HPC 事業 成長戦略 2】ソフトウェア&受託・コンサルティングサービスの強化

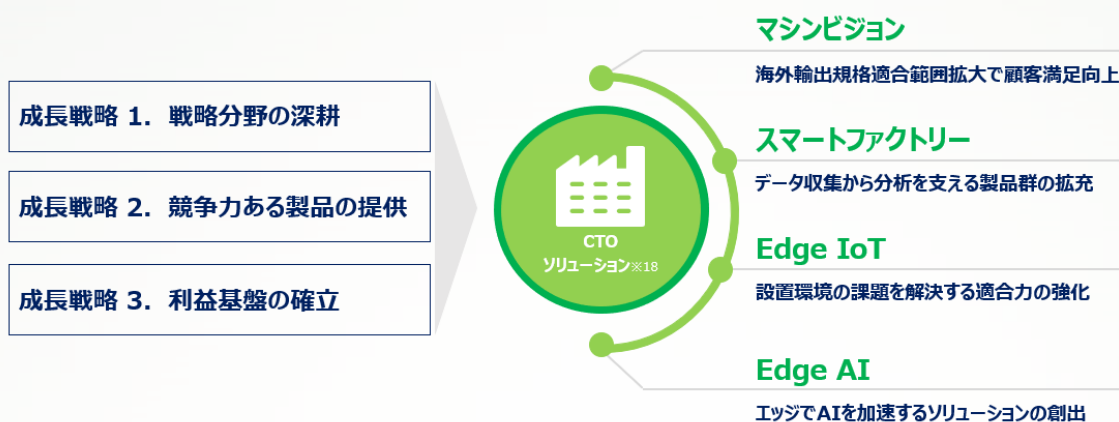
- 計算化学ソフトウェア&受託計算・コンサルティングサービスで事業基盤を強化し、収益構造を変革

【HPC 事業 成長戦略 3】ソフトウェアでグローバル市場に挑戦

- 国産の計算化学ソフトウェアでグローバル市場に挑戦し、中長期的な海外の事業基盤を構築

◆CTO 事業成長戦略

■ スピード感のある提案力、製品開発力と高品質を実現する生産技術力で競争優位性を創出、収益力を強化



【CTO 事業 成長戦略 1】 戦略分野の深耕

- 継続顧客の深耕、国内外パートナーとの連携強化、HPC 事業とのシナジーで新規顧客開拓と販路拡大

【CTO 事業 成長戦略 2】 競争力ある製品の提供

- 顧客のビジネス成長を支援する競争力のある製品をタイムリーに提供

【CTO 事業 成長戦略 3】 利益基盤の確立

- 生産技術力を強化し、高性能・高品質・高付加価値な製品の提供、持続的な成長と収益力を改善

◆サステナビリティの考え方と取り組み

【環境】 環境目標：2030年までに当社のCO2排出量を2018年比で37%削減

【社会】 Well-beingの最大化を目指すための人財グランドデザイン

【企業統治】 コーポレート・ガバナンス体制の強化

②事業シナジー戦略

- HPC 事業と CTO 事業の柔軟な人材活用で事業連携を最大化し、競争優位性を向上

③テクノロジー戦略

- シミュレーション技術と AI 技術の融合技術
- 世界スタンダードのコンピューティング技術
- 先端冷却技術、省エネ技術
- 量子コンピュータを用いた量子化学計算の研究

④グローバル戦略

- ソフトウェアライセンスビジネスによる展開
- パートナーシップと産学のネットワーキング
- ベトナム子会社 INT2 社のソフトウェア強化
- 顧客製品への海外対応モデルの拡充

6. 重要業績評価指標（KPI）連結ベース

売上100億円の壁を突破し、営業利益率2桁を実現するための重要な位置付け

	2024年6月期	2025年6月期	前年対比	2027年6月期	2025年6月期比
	実績	計画		計画	CAGR
売上高	69億円	72億円	4.2%増	86億円	9.3%
営業利益	4億円	6億円	40.9%増	9億円	22.5%
営業利益率	6.1%	8.3%	+2.2pt	10%以上	
自己資本利益率 (ROE)	12.5%	15.5%	+3.0pt	2桁維持	
株主資本配当率 (DOE)		4%目安		4%目安	

- 成長性指標 売上高成長率を2025年6月期の計画比でCAGR9.3%を設定
- 収益性指標 営業利益率2025年6月期計画8.3%を2027年6月期に10%以上
- 資本効率性指標 2024年6月期ROE12.5%を2027年6月期にかけて2桁維持
- 株主資本配当率 4%を目安に、長期的かつ安定的な配当を維持

7. 株主還元

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と認識しており、中長期的な経営視点に基づいて得られた資金を、成長事業のさらなる拡大に向けた人財投資、研究開発投資や設備投資への有効活用と将来の事業環境の変化に備えるための財務健全性の維持に必要な内部保留の確保を考慮して、企業競争力と株主価値の向上を図ることを基本方針とし、2024年7月にスタートした「中期経営計画 Vision2027」では、**DOE（株主資本配当率）4%**を目安とする配当方針としております。

また、その時々々のキャッシュ・フローを勘案し、株価推移に応じて自己株式の取得も機動的に実施していきます。

	2022年6月期 実績	2023年6月期 実績	2024年6月期 予定	2025年6月期 予想
1株当たり 年間配当金	25円	25円	25円	26円

毎期の配当については、年間業績等を見極めた上で、毎年6月30日を基準日として株主総会決議による期末配当を行うことを予定しております。持続的な成長により企業価値を高め、長期的・安定的な株主還元を目指します。

以上